

平成28年度 福島県放課後子ども総合プラン推進委員会

開催期日：平成29年1月26日（木） 14：00～16：00

開催場所：棚倉町立近津小学校

＜出席者＞

【推進委員】	国立大学法人福島大学 うつくしま未来支援センター 特任教授	本多 環（委員長）
	福島県市町村社会教育委員連絡協議会会長	中島 功（副委員長）
	福島県小学校長会【白河市立小野田小学校長】	菅野 学
	中島村教育委員会生涯学習課専門児童厚生員	田村 利恵
	棚倉町教育委員会子ども教育課主査	塩田 貴紀
	白河市おのだ子ども教室 コーディネーター	鈴木 信正
	福島県保健福祉部こども未来局子育て支援課主査	有我 一則
	福島県教育庁特別支援教育課主任指導主事	赤坂 剛
	福島県教育庁社会教育課主幹	平久井 淳
【事務局】	福島県保健福祉部こども未来局子育て支援課	有我 一則
	福島県教育庁社会教育課	渋川 韶也、土屋 好二、笠原 聰

＜内 容＞

（1）協議

- ① 放課後子ども総合プランについて
- ② 福島県放課後子ども総合プラン推進委員会の目的について

（2）説明

- ① 「福島県放課後子ども教室推進事業」について
- ② 棚倉町における「福島県放課後いきいき活動支援事業」について

（3）視察

近津子ども教室の見学

※「福島県放課後いきいき活動支援事業」の実際

（4）全体総括

(1) 協議

① 放課後子ども総合プランについて

「放課後子ども総合プラン」とは、共働き家庭等の*「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、厚生労働省及び文部科学省が協力して策定した、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を目指す総合的な放課後児童対策の指針です。

*「小1の壁」とは、保育所に比べて放課後児童クラブが不足していることや開所時間が短いことから子どもが小学校にあがる際に親が働き方を変えざるを得なくなってしまう問題。

② 福島県放課後子ども総合プラン推進委員会の目的について

県内の放課後子ども教室及び放課後児童クラブの一体型或いは連携型に向けた取組について検討し、市町村の放課後子ども総合プランの推進を支援することを目的としています。



(2) 説明

① 「福島県放課後いきいき活動支援事業」について

市町村における放課後活動を充実させるため、知事部局（保健福祉部こども未来局）と教育委員会（社会教育課）が連携して実施している本県独自の取組です。

放課後児童クラブと放課後子ども教室の子どもたちの共通体験活動を支援するものです。

放課後の学習支援や体験活動を実施し、体験活動のプログラム作成と普及を図っていきます。

② 棚倉町における「福島県放課後いきいき活動支援事業」について

棚倉町では、町内5地区（小学校区）において、放課後児童クラブと放課後子ども教室との共通体験活動を実施しています。

（3）観察



（4）全体総括

一体型の取組について、委員の方からは、以下のような意見が出されました。

- 子どもたちへの指導の様子や子どもたちの笑顔や活気から成果が見られる。
- 児童クラブの支援員と子ども教室の指導員や安全管理員との連携が重要である。
 - ・子どもの情報の共通理解
 - ・安全・安心のための共通理解
 - ・指導内容の精査
- 地域の方と関わり、地域の方から学ぶ姿勢を大切にしていくことが必要である。

今回いただいた意見を、今後の放課後子ども総合プランの推進や総合的な放課後対策のあり方を検討する上で生かしていきたいと思います。